

平成 29 年度

第 2 回 豊見城市景観まちづくり塾 <実施概要>



県内の景観まちづくりの先進地視察 ～県内の先駆的な景観まちづくりの事例を学びます～

11月5日(日)の第1回景観まちづくり塾に引き続き、11月19日(日)に第2回景観まちづくり塾が開催されました。これからの豊見城市の景観まちづくりにつなげるため、前回に引き続き、赤瓦ちよーびんさんのガイドとともに、県内の景観まちづくりの先進事例である那覇市龍潭通りと浦添市仲間地区の視察ツアーを行いました。

開催概要

- 日 時 平成 29 年 11 月 19 日 (日)
13:00-17:00
- 集 合 豊見城市役所
- 参加者 16名(豊見城市民:10名、
字豊見城住民:6名)

プログラム

1. オリエンテーション
2. 視察① 那覇市龍潭通り重点地区
3. 視察② 浦添市仲間重点地区
4. 閉会

今年度の景観まちづくり塾のスケジュール

第1回 景観まちあるき

11月5日(日)

14:00-17:00

第2回 県内先進地視察

11月19日(日)

13:00-17:00

第3回 景観づくり実践

12月10日(日)

13:00-15:00

これまでの経緯と今年度の予定

豊見城市では、平成 25 年から景観に関する基礎調査や景観まちづくり塾などを行ってきました。平成 29 年 9 月に「豊見城市景観計画」を策定、平成 29 年 10 月には「豊見城市景観まちづくり条例」も制定されました。字豊見城地区においては、平成 26 年度より景観まちづくり塾等を通じて景観づくりに取組んできました。昨年度より「住民懇談会」と「景観まちづくり塾」の場において、景観形成重点地区の検討を進め、去った 8 月には、景観形成重点地区指定後の景観まちづくり活動を実践することを目的とした「字豊見城地区人づくり街づくり協議会」が発足しました。今年度は、字豊見城地区をフィールドに全 4 回の「同協議会」、全 6 回の「住民懇談会」、全 3 回の「景観まちづくり塾」の開催を予定しています。

視察① 那覇市龍潭通り重点地区



色彩の配慮がされたコンビニエンスストア



壁面の色彩の統一と勾配屋根と赤瓦



大和井戸（ヤマトガー）

【那覇市龍潭通り重点地区】

- ・ テーマ：首里城下の歴史と文化の薫るまちづくり
- ・ かつて御殿、殿内などが立ち並ぶ龍潭前の大通りであり、現在でも首里の観光・商業の核であり、首里城城下のメインストリートである。
- ・ 2002（平成14）年12月に、龍潭通りまちづくり協議会の同意を得て、都市景観形成地域として指定された。
- ・ 赤瓦・石張り・石積み等の使用による沖縄らしい街並み形成がされている。
- ・ 都市景観形成地域の指定を進め、赤瓦屋根、石張り、石積みへの助成制度等を行ってきた。
- ・ 道路境界から建物の外壁を後退させることで、雨端や奥行きの変化など、まちなみに豊かな表情を与えている。
- ・ 首里城からの眺めを考慮した建物の高さの設定を行っている。軒高12m、絶対高さ15m。赤瓦勾配屋根にすることで、歴史的風景に調和を図っている。



壁面のセットバックと緑化

視察② 浦添市仲間重点地区



美装化された車道と歩道

【浦添市仲間重点地区】

- ・ テーマ：水・緑が感じられる てだこの城下町（グスクまち）づくり
- ・ 浦添グスクの麓にあり、景観向上を図るため、車道及び歩道は景観面に配慮した舗装やデザインとなるよう、道路美装化（散策路整備）を行っている。
- ・ 「仲間樋川」など、歴史的地域資源の復元に住民主体でとりくんでいる。



地域資源の案内板



復元された仲間樋川



美装化された道路と石垣



仲間火又神

アンケートの声

<感想>

- ・ 景観づくりについて大変勉強になった。豊見城でも活かしたい。
- ・ ちょーびんさんの解説がとてもわかりやすく、今まで知らなかったこともたくさん教えてもらえてよかった。
- ・ ちょーびんさんの解説を聞いて、琉球の歴史や昔の人の生活に興味があった。沖縄県民でありながら知らなかったことも多く、歴史について勉強したいと思った。
- ・ 今回の視察を通して、あまりお金をかけなくても景観に対する理解や小さな意識で景観形成は可能であると理解できた。
- ・ 個人的に地域や沖縄の歴史を勉強する機会は少ないので、今回の企画は大変良かった。もっと時間にゆとりがあると、なお良かった。

<良いと思った景観とその理由>

- ・ 仲間地区と豊見城は地域の状況が近いと思った。
- ・ 地域の生活に合った景観の保存方法があった。
- ・ お金をたくさんかけなくても、チャレンジできるところから景観づくりができるとうい。
- ・ 歴史を保存、修復して将来につなげていくまちづくりは素晴らしいと思う。

<工夫していると思った点>

- ・ お金をかけなくても、日常生活の小さな配慮が地域全体の景観形成を成していると思う。
- ・ 建物等の色調や素材を統一するように工夫していると感じた。
- ・ 住民や行政だけではなく、コンビニや自動販売機等の事業者も景観づくりに配慮している。
- ・ 行政の取組で整備が行き届いており、住民も景観づくりに積極的に参加しているようだった。

<改善した方が良くと思った景観>

- ・ カーなど、地域の重要な史跡や景観資源はきれいに保たれていればパワーを感じるが、汚れていると嫌に気になるので、きれいに保たれるとうい。
- ・ 歴史的なスポットに休憩できるベンチ等のスペースがあるとよいと思う。



平成 29 年度 第 2 回豊見城市景観まちづくり塾<実施概要> 平成 29 年 11 月

■お問い合わせ先 豊見城市 都市計画課
〒901-0292 沖縄県豊見城市翁長 854 番地 1
TEL : 098-850-5332 FAX : 098-850-6323